

事業番号 2021 - 総務 - 20 - 0145

令和3年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証			担当部局庁	総合通信基盤局電波部		作成責任者			
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	移動通信課		課長 翁長 久			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	電波法第103条の2第4項第3号			関係する 計画、通知等	「成長戦略フォローアップ」(令和2年7月17日閣議決定)、「経済財政運営と改革の基本方針2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「まち・ひと・しごと創生基本方針2020」(令和2年7月17日閣議決定)、世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(令和2年7月17日閣議決定)、「令和2年度革新的事業活動に関する実行計画」(令和2年7月17日閣議決定)					
主要政策・施策	IT戦略、地方創生			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域の企業等をはじめとする様々な主体が個別のニーズに応じて独自の5Gシステムを柔軟に構築できる「ローカル5G」について、様々な課題解決や新たな価値の創造等の実現に向け、現実の利活用場面を想定した開発実証を踏まえ、ローカル5Gの柔軟な運用を可能とする制度整備や、低廉かつ容易に利用できる仕組みの構築を行う。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	様々な課題解決型に資するローカル5G等の実現に向けて、5Gの「超高速」「超低遅延」「多数同時接続」といった特長と、都市部、ルーラル、屋内等の試験環境の異なる地域や、複数の周波数の組み合わせ、様々な利活用シーンで地域のニーズを踏まえた開発実証を実施する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	3,618	5,000	5,500			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		0	0	3,618	5,000	5,500			
	執行額		-	-	3,297					
執行率 (%)		-	-	91%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	91%						
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	電波監視等業務庁費		5,000	5,500	実施することとしている実証件数の増に伴う増額。					
	計		5,000	5,500						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 2年度	目標最終年度 4年度	
	外部専門家による継続評価及び終了評価において、平均点が満点の7割以上		外部専門家による継続評価及び終了評価の平均点	成果実績	割/満点	-	-	-	8	-
				目標値	割/満点	-	-	-	7	7
				達成度	%	-	-	-	114	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)										
総務省のホームページで公表予定の「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証の評価に関する会合」継続評価及び終了評価結果										
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込	
	ローカル5G等実現に向けた実証件数			活動実績	件	-	-	19	-	-
				当初見込み	件	-	-	18	25	30
単位当たり コスト	算出根拠			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	執行額の合計/ローカル5G等実現に向けた実証件数			単位当たり コスト	百万円	-	-	174	200	
計算式				百万円/ 件	-	-	3,297/19	5,000/25		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	V. 情報通信(ICT政策)						
	施策	5. 電波利用料財源による電波監視等の実施						
	測定指標	定量的指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
<p>様々な利活用シーンでの開発実証を通じ、ローカル5Gに係る技術基準(電波の質、通信品質、制御方式等)を定めるための技術検討を実施することにより、電波の有効利用を促進し、電波の公平かつ能率的な利用の推進に寄与する。</p>								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明												
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(令和2年7月17日閣議決定)をはじめとする複数の閣議決定文書において実施の必要性を求められているものであり、社会のニーズを反映しているといえる。												
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、周波数共用のための技術実証を行うものであり、民間事業者のみならず国の機関を含めた免許人が利益を享受するものであることから、国により実施されるべきである。												
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は電波法第102条の2第4項第3号の規定に基づき、実施するものである。また、世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(令和2年7月17日閣議決定)をはじめとする複数の閣議決定文書において実施の必要性を求められているものであり、優先度の高い事業といえる。												
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	各契約において、支出先の選定に当たっては、一般競争入札を行い、競争性を担保している。なお、複数社に見積もりを依頼したものの、人員不足等を理由に応札を見送ったため、結果として一者応札となったものである。												
	<table border="1"> <tr> <td>一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>競争性のない随意契約となったものはないか。</td> <td>無</td> </tr> </table>	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	競争性のない随意契約となったものはないか。	無									
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有													
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無													
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○													
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札によってコスト削減に十分配慮した調達方法を採用しており、水準は妥当である。												
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-													
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本事業の目的に即した実施要領及び調達仕様書を定め、これに基づき事業を行っているため、費目・用途は真に必要なものに限定されている。												
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-													
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-													
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-														
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	外部専門家による継続評価は目標を達成しており、見合ったものとなっている。												
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-													
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込みのうち、すべての実証事業を適切に実施できた。												
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-													
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	←課題解決型ローカル5G等に関する技術基準の策定に向けた開発実証 ←ローカル5G等を活用した課題解決モデルの策定に向けた開発実証 ←総務省事業と連携しスマート農業を推進するための委託研究を実施												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務省</td> <td>20 - 0021</td> <td>課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証(利用料財源)</td> </tr> <tr> <td>総務省</td> <td>0102</td> <td>課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証(一般財源)</td> </tr> <tr> <td>農林水産省</td> <td>20 - 0201</td> <td>スマート農業総合推進対策事業</td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名		事業番号	事業名	総務省	20 - 0021	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証(利用料財源)	総務省	0102	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証(一般財源)	農林水産省	20 - 0201	スマート農業総合推進対策事業	
	所管府省名	事業番号		事業名											
	総務省	20 - 0021		課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証(利用料財源)											
	総務省	0102		課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証(一般財源)											
農林水産省	20 - 0201	スマート農業総合推進対策事業													
点検・改善結果	点検結果		世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画(令和2年7月17日閣議決定)をはじめとする複数の閣議決定文書において、国は「ローカル5G等による地域課題解決に向けた開発実証を推進していく」等、多様な主体による5Gの活用に向け総合的な支援を行うこととされており、社会のニーズを反映しているものである。本事業はローカル5Gのより柔軟な運用及び低廉かつ安心安全な利活用の実現に向け、実際のユースケースに基づき、技術実証及び活用モデルの策定等を行うものなので、一定期間、国が実証の支出をすることは妥当である。また、予算の執行は適正に行われている。												
	改善の方向性		引き続き適正な執行に努める。												

外部有識者の所見

応札の前提を問わず、複数者から参考見積を入手できるよう、工夫する必要があると思われる。

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の
一部改善の

更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改
善

調達の変更競争性向上及び経費管理の改善を図り、更なる適正な予算執行に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

令和元年度		総務省 - 新32 - 0015		
令和2年度	総務省 - 新02 - 0021	総務省 - 0102	農林水産省 - 新02 - 0201	

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 総務省 3,297百万円 </div> <div style="margin: 5px 0;"> ↓ 【その他事務費0.1百万円含む。】 ↓ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> 【一般競争契約(総合評価)】 A. 民間企業等(19団体) 3,199百万円 </div> <div style="margin-top: 10px;"> 【既存無線システムと試験環境の異なる地域、周波数を組み合わせ、様々な利活用シーンで開発実証を実施。】 </div> </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> 【一般競争契約(総合評価)】 B. 一般社団法人 電波産業会 98百万円 </div> <div style="margin-top: 10px;"> 【開発実証事業のうち技術実証部分について支援しつつ、その取りまとめ等を行う。】 </div> </div> </div> </div>					
	費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.		B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	請負	民間企業等が実施する開発実証に係る経費	3,199	請負	ローカル5Gの電波伝搬特性等に関する技術的検討の調査検討に係る経費	98
	計		3,199	計		98
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						<input type="checkbox"/> チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関西ブロードバンド株式会社	6140001022081	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(農業ロボットによる農作業の自動化の実現)	248	一般競争契約(総合評価)	1	94.1%	
2	一般財団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構	2070005009004	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(自動運転車両の安全確保支援の仕組みの実現)	230	一般競争契約(総合評価)	1	83.9%	
3	日本電気株式会社	7010401022916	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(スマートグラスを活用した熟練農業者技術の「見える化」の実現)	229	一般競争契約(総合評価)	1	99.2%	
4	特定非営利活動法人滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会	4160005009843	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(中核病院における5Gと先端技術を融合した遠隔診療等の実現)	209	一般競争契約(総合評価)	2	100%	
5	日本電気株式会社	7010401022916	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(工場内の無線化の実現)	208	一般競争契約(総合評価)	1	100%	

6	トヨタ自動車株式会社	1180301018771	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(MR技術を活用した遠隔作業支援の実現)	199	一般競争契約 (総合評価)	1	95.3%	
7	東日本電信電話株式会社	8011101028104	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(自動トラクター等の農機の遠隔監視制御による自動運転の実現)	198	一般競争契約 (総合評価)	1	96.2%	
8	株式会社NTTフィールドテクノ	4120001014405	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(専門医の遠隔サポートによる離島等の基幹病院の医師の専門外来等の実現)	198	一般競争契約 (総合評価)	2	99.7%	
9	住友商事株式会社	1010001008692	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(目視検査の自動化や遠隔からの品質確認の実現)	188	一般競争契約 (総合評価)	1	89.9%	
10	総合警備保障株式会社	3010401016070	課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証に係る請負事業の実施(遠隔巡回・遠隔監視等による警備力向上に資する新たなモデルの構築)	179	一般競争契約 (総合評価)	1	92.8%	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人 電波産業会	7010005016769	ローカル5Gの電波伝搬特性等に関する技術的検討の調査検討を実施	98	一般競争契約 (総合評価)	1	98.4%	